

NRC、次世代科学基準の導入に向けた指標を提示（1月8日）

米国アカデミー（National Academies）傘下の米国学術研究会議（National Research Council:NRC）は1月8日、次世代科学基準（Next Generation Science Standards:NGSS）を今後約10年間かけて徐々に導入していくために、全米の学区、学校の指導者、及び教員が取るべき必要なステップの指標を提示した報告書「次世代科学基準施行のための指標（Guide to Implementing the Next Generation Science Standards）」を発表した。

NGSSは、知識偏重の科学・工学教育ではなく、知識と実践を組み合わせることにより、深い概念的理解を構築し、将来の学習においてより生産性が高くなるとの研究結果に基づき導入されたものである。本報告書では、NGSS導入にあたって考慮すべき主要な教育システムの要素として、指導法、教師・学校の指導者による学習、カリキュラム、評価、協力・ネットワーク・パートナーシップ、方針・コミュニケーションなどを挙げている。また、NGSS導入の際の原則として、州・学区・学校レベル、学年、システムの異なる構成要素など全体に亘る一貫性の確保を含む7項目を特定している。

なお、本報告書は、<http://www.nap.edu/openbook.php?record_id=18802>から閲覧可能。

The National Academies, Effective Implementation of Next Generation Science Standards Requires Consistency and Collaboration

<http://www8.nationalacademies.org/onpinews/newsitem.aspx?RecordID=18802>